

太政類典第一編第百六卷索引

兵制
陸海軍官制

0711	一 三職分課ヲ設ケ海陸軍事務總督ヲ置キ 海陸軍練兵守衛總軍務ヲ督ス 元三年四月廿日	一
0712	一 三職ハ局ヲ設ケ軍防事務局ヲ置キ掌ル 所故ノ如シ 元三年四月廿日	二
0713	一 軍防事務局中ニ御親兵掛ヲ置ク 元三年四月廿日	三
0714	一 軍防規則ヲ定ム 元三年四月廿日	四
0715	一 軍防裁判所役定員ヲ定ム 元三年四月廿日	五
0716	一 裁判所御用掛両局ヲ置ク 元三年四月廿日	六
0717	一 三職ハ局ヲ廢シ太政官中七官ト為シ軍 務官ヲ置ク 元三年四月廿日	七
0718	一 軍務官出張所ヲ兵庫ニ置ク 元三年四月廿日	八
0719	一 裁判所ヲ改置ス 元三年四月廿日	九
0720	一 御用掛局ヲ改置ス 元三年四月廿日	十
0721	一 軍務官敦賀出張所ヲ置ク 元三年四月廿日	十一
0722	一 軍務官中裁判所御用掛ノ兩局ヲ廢ス 元三年四月廿日	十二
0723	一 軍務官出張所ヲ東京城内ニ置ク 元三年四月廿日	十三
0724	一 軍務官敦賀出張所ヲ廢ス 元三年四月廿日	十四
0725	一 軍防事務局中守衛司設置官門守衛等ノ 事ヲ調査書ニシム 九年	十五
0726	一 陸軍局ヲ廢ス 二年六月八日	十六
0727	一 軍務官官員ヲ大坂ニ派社ス 九年四月廿日	十七
0729	一 職員令ヲ頒ツテ兵部省ヲ置ク 九年四月廿日	十八
0730	一 治療所ヲ改置ス 九年四月廿日	十九

0731	一 作事方ヲ會計司ノ附屬ト為ス 二年七月廿日	二十
0732	一 舊大坂軍務官ヲ改ノ兵部省大坂出張所 ト補ス 二年七月廿日	廿一
0733	一 兵部省寮司ヲ定ム 二年八月廿日	廿二
0734	一 大坂兵部省官員不足ノ際ハ附屬役トシ ヲ使用ス 二年九月廿日	廿三
0735	一 大坂兵部省大坂開兵以後盛大ニセン ヲ請フ 二年九月廿日	廿四
0736	一 兵庫出張局及屯所礮鏡製造局諸ノ月給 ヲ定ム 二年九月廿日	廿五
0737	一 兵部省御留守官員ヲ定ム 二年九月廿日	廿六
0740	一 兵部省定員見込ヲ開申ス 二年十月廿日	廿七
0741	一 兵部省出張所ヲ十津川ニ設ク 二年十月廿日	廿八
0744	一 武庫司ノ建設アルニ因リ従前ノ兵器司 ヲ廢ス 二年十月廿日	廿九
0745	一 陣營方ヲ廢シ武庫司ニ併合ス 二年十月廿日	三十
0746	一 伏見會計局ヲ會計司出張所兵器局ヲ武 庫司出張所ト補セシム 二年十月廿日	三十一
0747	一 陸軍諸部目途ノ大綱ヲ候ス 二年十月廿日	三十二
0752	一 刑部省軍曹以下ノ職名并等級等ノ事ヲ 兵部省ニ照會ス 二年十月廿日	三十三
0753	一 海陸軍大佐以下ノ官位相當ヲ定ム 二年十月廿日	三十四
0754	一 紘間武庫西司ニ官員命免増減ヲ會計司 ニ出サシム 二年十月廿日	三十五
0755	一 京都兵部省ヲ廢ス 二年十月廿日	三十六
0756	一 兵部省中分課ヲ定ム 二年十月廿日	三十七

(マイクロ
リール番号)

0758	一 伏見兵部省出張所ヲ置ク	二年	三八
0759	一 兵部省中大小録職掌細則ヲ定ム	二年八月一日	三九
0761	一 兵部省ニ造兵司ヲ置ク	三年三月二日	四〇
0762	一 京都兵部省ヲ廢セシテ以テ成兵ヲ京都府ニ管セシム	三年三月二日	四一
0763	一 兵部省定課ヲ設ク	三年三月六日	四二
0767	一 兵部省十津川出張所ヲ廢ス	三年三月二日	四三
0768	一 関口製造所並ニ瀧ノ川及射爐ヲ造兵司ノ管轄トス	三年三月	四四
0769	一 軍監心得書ヲ示ス	三年七月二日	四五
0770	一 兵部大少丞陸海軍撤之分課ヲ定ム	三年四月十日	四六
0771	一 兵部省京都出張所ヲ廢シ兵隊ハ大坂出張所ニ管セシム	四年五月七日	四七
0772	一 北海道沿海測量ヲ兵部省ニ委ス	四年五月十日	四八
0773	一 東山西海兩道ニ鎮臺ヲ置キ兵部省ノ管轄ニ屬ス	四年四月十日	四九
0775	一 兵部省ニ軍醫寮ヲ置ク	四年七月五日	五〇
0789	一 軍醫寮官名ヲ定ム	四年七月五日	五一
0791	一 兵部省中會計司ヲ廢ス	四年七月五日	五二
0792	一 兵部職員令ヲ定ム	四年七月	五三
0798	一 兵部省陸軍部内條例ヲ定ム	四年七月	五四
0823	一 浮浪勤王ノ士ヲ擧ケ軍曹トナシ俸祿ヲ給ス	九年八月八日	五五
0831	一 兵學校ヲ京都ニ設ク	九年七月十日	五六
0832	一 兵學校ヲ兵學所ト改稱ス	九年五月	五七
0833	一 大坂軍務官中ニ兵學所ヲ設ク	二年七月	五八

(マイクロ
リール番号)

0834	一 京都兵學校ヲ大坂兵學寮ニ移ス	二年六月四日	五九
0835	一 海軍所ヲ東京ニ陸軍所ヲ大坂ニ定ム	三年四月十日	六〇
0836	一 横濱語學所ヲ大坂兵學寮ニ移ス	三年四月六日	六一
0837	一 兵學寮教官ヲ定ム	三年六月七日	六二
0838	一 兵學寮中准得業生ヲ廢ス	四年七月九日	六三
0839	一 兵學寮取締ノ綱ヲ廢ス	四年七月九日	六四
0840	一 大總督陣醫御用ヲ中山靈後办ニ會ス	五年四月十日	六五
0841	一 軍務官東京醫學所ヲ管ス	五年七月十日	六六
0842	一 軍務官京都府中ノ病院ヲ管ス	五年七月十日	六七
0843	一 醫學所ヲ東京府ニ屬ス	五年七月十日	六八
0844	一 軍務官管スル所ノ病院ヲ京都府ノ管轄ニ屬ス	五年七月十日	六九
0845	一 京都府所管ノ病院ヲ軍務官ニ復ス	五年四月十日	七十
0846	一 軍務官病院ヲ改メテ軍務官治療所ト稱ス	九年五月十日	七一
0848	一 京都陸軍中附属治療所ヲ廢ス	九年八月八日	七二
0849	一 病氣ニテ藥用致度旨治療方へ申出ノ者アリハ本省ノ證印無キ者ニハ之ヲ許サズ	九年七月十日	七三
0850	一 治療所へ病氣藥用願書ノ差出方ヲ定ム	九年七月十日	七四
0851	一 軍局假病院ノ醫官人員月給並ニ出頭時限診察等ノ規律ヲ定ム	二年三月	七五
0852	一 陸軍所及軍事病院ヲ大坂ニ置ク	四年十月十日	七六
0853	一 大坂軍事病院へボードイン雇入レンヲ稟候ス	四年五月八日	七七
0854	一 大坂軍事病院ボードイン兼勤方ヲ候ス	四年五月十日	七八

マイクロ第一編
番号

一一兵制

三二八

0855 一 兵部省軍醫寮ヲ設置セン^{明治三十五年}トテ請フ之ヲ
允サス病院ノ名ヲ以テ事務ヲ擴張セシ
ム 七十九

0856 一 大坂軍事病院再ヒ軍醫寮ヲ設置セン^{明治卅四年}ト
テ候ス 八十

0857 一 軍艦ヲ西國諸藩ニ徵ス^{天保六年} 八十一

0858 一 大總督府田安慶頼ニ令シテ徳川氏ニ軍
艦四隻ヲ賜ヒ其餘ハ悉ク之ヲ收ム^{元享四年} 八十二

0859 一 海軍所ヲ設ク^{天保五年} 八十三

0860 一 濱殿ニ海軍局ヲ建ツ^{天保六年} 八十四

0861 一 軍艦副長ノ稱ヲ廢シ一等二等士官ヲ以
テ命ス^{嘉永六年} 八十五

0862 一 大坂兵部省船艦藩々へ願濟ノ艦長以下
罷免方ヲ候ス^{嘉永六年} 八十六

0863 一 築地名古屋藩邸ヲ以テ海軍操練所ト為
ス^{三十一年} 八十七

0864 一 築地海軍操練所ヲ海軍兵學寮大坂兵學
寮ヲ陸軍兵學寮ト改稱ス^{三十一年} 八十八

マイクロ
番号

太政類典第一編第百七卷索引

兵制

鎮臺諸廳舎 城堡附

- 0872 廳舎達 一元守護職屋敷ヲ以テ陸軍局ト為ス 天保十四年四月
- 0873 達 一軍務官ヲ陸軍局ニ移ス 元治五年六月
- 0874 京師達 一京都南部屋敷ヲ軍務官ニ貸與ス 官 京師 天保十二年四月
- 0875 軍務達 一京都軍務官ヲ元所司代屋敷ニ移シ京都府ヲ軍務官跡ニ移ス 二年六月廿日 軍務
- 0877 稟報 一兵部省外櫻田彦根邸ヲ假用ス 二年七月 兵部
- 0878 上申 一兵部省焼失セシヲ以テ假ニ常盤橋内武庫司ニ移轉ス 二年七月廿日 衆議淵繼
- 0879 達 一兵部省ヲ鳥取藩邸ニ置ク 二年七月 外務記録
- 0880 鳥取藩邸ヲ獻ス 二年七月 兵部
- 0881 兵部省達 一元山王田原藩邸ヲ兵部省ニ交付ス 二年七月廿日 兵部
- 0882 兵部省達 一竹橋門内大砲屯所ヲ軍務官ニ管セシム 二年七月廿日 軍務
- 0883 奏府達 一竹橋門内代官所元火工所ヲ兵部省用地トス 二年七月廿日 兵部
- 0884 兵部省達 一京都各兵隊屯所及警衛番所寺破損修理ノ手續ヲ定ム 二年十月 衆議淵繼
- 0886 稟候 一大坂府下鴨野村新田ヲ兵部省用地トス 四年四月 大坂
- 0887 兵部省達 一大坂城火藥貯藏中取締ヲ嚴ニセシム 四年十月廿日 官
- 0888 公 一城州宇治郡並白川村地内ヲ以テ火藥製造場建築地ト為ス 四年六月廿日 京師
- 0890 公 一小石川水戸藩邸ヲ兵部省ニ交付ス 四年五月廿日 兵部
- 0892 奏府達 一音羽護國寺ヲ軍務官ニ貸與ス 三年五月廿日 官
- 0893 奏府達 一二重橋外坂下口兩所兵隊屯所ヲ修繕ス 四年十月廿日 兵部

マイクロ
番号

- 0894 照會 一神田橋外開成學校用地ヲ騎兵所トス 七年七月 衆議記録
- 0895 上申 一神田橋外騎兵所處分 二年四月 兵部
- 0896 稟候 一兵部省芝増上寺山内ヲ管轄ス 三年五月 兵部
- 0898 奏府達 一増上寺本坊及ヒ諸院寮ノ熊本藩兵ノ宿陣ヲ廢ス 三年五月廿日 兵部
- 0899 奏府達 一常備兵隊屯所費用ノ支辨方ヲ定ム 三年七月廿日 兵部
- 0900 上申 一親兵屯營及軍醫寮建築地ヲ請求ス 四年六月 兵部
- 0902 奏府達 一名古屋藩元揚場ヲ親兵屯所トス 四年七月廿日 兵部
- 0904 兵部省達 一市ヶ谷元名古屋藩邸ヲ兵部省ニ交付ス 四年七月廿日 兵部
- 0913 稟候 一皇城下北屯所狹隘ナルヲ以テ神祇官ノ地所ヲ圍込ム 四年七月廿日 兵部
- 0914 公 一高輪應接所ヲ兵部省ノ管轄ト為ス 四年七月廿日 兵部
- 0916 奏府達 一横濱太田陣屋ヲ兵部省海陸屯營ト為ス 四年六月廿日 各縣
- 0917 高橋達 一高知藩泉州堺陣營ヲ兵部省ニ屬ス 四年十月廿日 兵部
- 0918 稟候 一角田縣下白石城ヲ兵部省ト為ス 四年十月廿日 兵部
- 0919 演武場 一伏見練兵場ヲ設ク 九年 兵部
- 0920 稟候 一武庫練兵場及親兵屯所ノ建築地ヲ候ス 九年六月廿日 衆議淵繼
- 0921 奏府達 一衣笠山薩摩藩邸ヲ射の場トナス 五年六月廿日 軍務
- 0923 兵部省達 一河東練兵場及衣笠山麓射的場ヲ兵部省ニ附ス 四年七月廿日 京師
- 0926 兵部省達 一品川縣所管ノ駒場野ヲ以テ練兵場ト定ム 三年五月廿日 兵部
- 0926 奏府達 一駒場野練兵場ヲ兵部省ニ交付ス 四年三月廿日 兵部
- 0927 稟候 一外櫻田練兵場ノ區域ヲ廣ム 三年五月 兵部
- 0930 公 一元清水邸及朝鮮馬場ヲ屯營並練兵場ト為ス 三年五月廿日 兵部

第一編 一一兵制

三二九

(マイクロ番号)

0931	稟候	一兵部省水道橋内元陸軍所等ノ地ヲ練兵	兵部	廿
0932	全	一東京府下各所ニ諸藩士ノ射的場ヲ設ク	東京府	廿一
0934	稟候	一越中島練兵所ヲ本省ノ直轄トス	衆議院	廿三
0936	稟候	一兵部省小金原ヲ練兵場トシテ請フ	兵部	廿五
0937	埋葬地	一大阪府下真田山ノ内ヲ兵隊ノ埋葬地ト	兵部	廿四
0941	布告	一諸府縣壁砲臺築造廢毀等ハ兵部省ヘ	兵部	廿五
0942	城壁	一三輪嘉之助ニ條城ヲ保管セシム	兵部	廿六
0943	留置	一ニ條城ヲ留守官ノ管轄ニ屬ス	兵部	廿七
0945	全	一ニ條城ヲ京都府ノ管轄ニ屬ス	兵部	廿八
0946	發付	一大阪城ヲ兵部省ニ屬ス	兵部	廿九
0954	本人	一真田信濃守ヲ甲府城代ト為ス	兵部	三十
0955	全	一鍋島直記ヲ甲府城代ト為ス	兵部	三十一
0956	全	一鍋島直記ノ甲府城代ヲ免ス	兵部	三十二
0957	稟告	一毛利敬親山口城移住ノ旨ヲ開申ス	兵部	三十三
0958	木蓮	一小出英尚園部ノ城地ヲ修ム	兵部	三十四
0960	稟候	一久留島通靖其治下ノ保防ヲ築ク	兵部	三十五
0961	全	一増山正修藩城ヲ修築セシム	兵部	三十六
0962	全	一松前志摩守城壘ヲ館ニ築造ス	兵部	三十七
0963	全	一加納藩城郭等ヲ基場形ニ改築ス	兵部	三十八
0964	全	一仙石政固藩城ヲ撤ス	兵部	三十九
0966	全	一静岡藩城外ニ城存置ニ及ラ批令ス	兵部	四十
0966	全	一水口藩城門櫓棟ヲ撤ス	兵部	四十一

(マイクロ番号)

0967	稟候	一川越藩城郭ヲ基場形ニ改築ス	兵部	四十二
0968	全	一字都宮藩城地外郭増築ノ分ヲ開墾セシ	兵部	四十三
0969	全	一福山藩城郭ヲ胸壁砲臺等ニ改築ス	兵部	四十四
0970	全	一西尾藩城郭等ヲ撤ス	兵部	四十五
0971	留置	一膳所藩城櫓廢撤ノ請ヲ聴カス	兵部	四十六
0972	稟候	一郡上藩城門櫓等ヲ撤ス	兵部	四十七
0973	全	一郡山藩城櫓破壞スルモ修築ヲ加ヘサル	兵部	四十八
0974	全	一篠山藩城地撤却ノ跡ニ桑茶ヲ植ユ	兵部	四十九
0975	全	一西大路藩城跡ヲ開拓ス	兵部	五十
0976	全	一龜山藩城郭ヲ修メサルヲ稟ス	兵部	五十一
0977	全	一宇和島藩城櫓ヲ撤ス	兵部	五十二
0978	稟候	一宮津藩城跡ヲ開墾ス	兵部	五十三
0979	全	一笠間藩城郭破壞スルモ修理ヲ加ヘサル	兵部	五十四
0981	全	一三春藩城郭ヲ撤ス	兵部	五十五
0982	全	一熊本藩城地廢撤ノ請ヲ允サス	兵部	五十六
0983	全	一小濱藩城郭ヲ撤ス	兵部	五十七
0984	全	一高松藩城郭ヲ撤ス	兵部	五十八
0985	全	一鳥羽藩城郭ノ破所修理ヲ加ヘサルヲ稟	兵部	五十九
0986	全	一土生藩城郭ノ破所修理ヲ加ヘサルヲ稟	兵部	六十
0987	全	一岩槻藩城郭ヲ撤ス	兵部	六十一
0988	全	一小田原藩城郭ヲ撤ス	兵部	六十二

(マイクロ番号)

0989	全	一川越藩城郭ヲ撤ス	三年閏十月 藩	八三
0990	全	一延岡藩城郭ヲ撤ス	三年閏十月 藩	八五
0991	全	一岸和田藩城郭ヲ撤ス	三年閏十月 藩	八五
0992	全	一山口藩指月城ヲ撤ス	三年閏十月 藩	八六
0993	藩	一甲府城ノ破所及不用場所ヲ撤ス	三年閏十月 藩	八七
0994	稟候	一山形縣城郭廢撤ノ慶分ヲ候ス	三年十月 藩	八八
0995	全	一大多喜藩城郭ヲ撤ス	三年十月 藩	八九
0996	全	一小諸藩城郭ノ破所修理ヲ加ヘサルヲ稟藩	三年十月 藩	九〇
0997	全	一福知山藩城郭ノ破所修理ヲ加ヘサルヲ稟藩	三年十月 藩	九一
0998	全	一土浦藩城郭ヲ撤ス	四年正月 藩	九三
0999	全	一彦根藩城郭ノ破所ヲ修メサルヲ稟藩	五年三月 藩	九三
1000	稟請	一彦根藩奥ノ島山樹石回ニ依リ藩城修補ノ用ニ備ヘント請フ	四年正月 藩	九四
1001	藩	一白石城ヲ廢毀ス	四年正月 藩	九五
1002	稟候	一松江藩城郭ヲ撤ス	四年正月 藩	九六
1003	全	一和歌山藩田丸城ヲ撤ス	四年正月 藩	九七
1004	全	一若松縣藩城ノ外郭ヲ開鑿ス	四年正月 藩	九八
1005	全	一若松縣藩城櫓破所ヲ修メサルヲ稟藩	四年正月 藩	九九
1006	全	一上山藩城郭ヲ撤ス	四年正月 藩	百
1007	全	一飲肥藩城郭ノ破所ヲ修メサルヲ稟藩	四年正月 藩	百一
1008	全	一高田藩城郭ヲ撤ス	四年正月 藩	百二
1009	全	一佐倉藩城郭破所ヲ修メサルヲ稟藩	四年正月 藩	百三
1010	全	一米澤藩城郭ヲ撤ス	四年正月 藩	百四
1011	全	一福井藩城郭ヲ修メサルヲ稟藩	四年正月 藩	百五

(マイクロ番号)

1012	稟候	一神戸藩城壕等ヲ撤ス	四年正月 藩	百六
1013	藩	一長崎砲臺要衝ノ地ノ外無用ニ属スルヲ廢撤ス	四年正月 藩	百七
1014	稟告	一觀音崎並龜ヶ崎臺場及銃臺等ヲ神奈川縣ニ付ス	五年正月 藩	百八
1019	上申	一工部省品川沖第四番臺場ノ交付ヲ請フ	五年正月 工部	百九
1020	藩	一小田原藩海岸砲臺ヲ廢撤ス	五年正月 藩	百十
1021	藩	一舊幕府ノ海軍所ヲ收ム	五年正月 藩	百十一
1023	照會	一兵庫川崎海軍用地ニ出張所ヲ造營ス	五年正月 藩	百十二
1024	稟候	一離宮濱殿ヲ以テ海軍所ト為ス	五年正月 藩	百十三
1026	上申	一海軍所役員ノ官宅ヲ千村平右衛門邸ニ設ク	五年正月 藩	百十四
1027	藩	一濱殿海軍所ヲ止メ築地元尾州邸ヲ以テ設ク	五年正月 藩	百十五
1033	稟候	一高輪元海軍用所ヲ石川島ニ換フ	五年正月 藩	百十六
1034	病院	一海軍病院建設地ヲ請求ス	五年正月 藩	百十七
1037	藩	一濱殿中ノ海軍病院ヲ兵部省ニ交付ス	五年正月 藩	百十八
1038	全	一高輪富士艦宿陣所ヲ東京府ニ交付ス	五年正月 藩	百十九
1039	全	一水兵屯所ヲ新錢座ニ設ク	五年正月 藩	百二十

第一編 一一兵制

1052	一 諸侯在京ノ輩歸國ノ際同地ニ殘留ノ兵買ヲ定ム	九 九 四 日	一
1053	一 石高ニ應シ兵負ヲ募集シ以テ陸軍ヲ編制ス	全 國 山 田 日 本 日	二
1059	一 徴兵並軍資金差出方ヲ定ム	大 正 四 年 四 月 日	三
1060	一 諸藩ニ令シ高割徴兵四十八人以上ハ指揮官ヲ除ヘ差出サシム	天 保 九 年 四 月 日	四
1061	一 諸藩ニ令シテ京師駐在ノ兵ヲ解キ藩内ノ兵備ヲ修メシム	天 保 九 年 四 月 日	五
1062	一 東北平定ニ付各藩高相應ノ兵隊ヲ出シ	天 保 十 年 四 月 日	六
1063	一 東西京守衛セシム	一 年 四 月 十 日	七
1064	一 東北平定ニ付兵制ヲ更革セントス依テ暫ク徴兵ヲ歸休セシム	一 年 四 月 十 日	七
1065	一 諸藩ニ令シテ在京ノ兵ヲ歸邑セシム	二 年 五 月 九 日	八
1066	一 越後府知事ヲシテ府兵並戍兵等指揮管轄セシム	三 年 五 月 四 日	九
1066	一 佐賀藩ニ精良ノ士ヲ撰ミ輦下ヲ警衛セシム	三 年 五 月 二 日	十
1067	一 兵制更革ノ為メ徴兵ヲ歸休セシムルト雖モ軍資金ハ舊ニ仍リ上納セシム	三 年 五 月 二 日	十一
1069	一 徴兵規則ヲ定メ府藩縣ニ課シ封土ニ應シ兵買ヲ大坂出張兵部省ニ出サシム	三 年 五 月 二 日	十二
1084	一 各藩ノ徴兵差出期限ヲ改定ス	四 年 五 月 四 日	十三

第一編 一一兵制 三三三二

1086	一 東海道府藩縣ニ令シ兵員徴召ノ令ヲ中止ス	四 年 五 月 廿 九 日	十四
1087	一 山口藩浪華新附兵一中隊ヲ軍防局ニ屬ス	九 年 五 月 廿 九 日	十五
1088	一 浪士隊軍務官邸内ニ繰込マシム	一 年 四 月 廿 九 日	十六
1089	一 十津川郷士ハ兵隊規則相立年々交替在京ノ儀ヲ達ス	三 年 四 月 廿 九 日	十七
1090	一 十津川郷兵士伏水ニ屯在人數ノ内東下ヲ令ス	三 年 四 月 廿 九 日	十八
1091	一 十津川郷兵ノ常備進退ヲ伺定ス	三 年 十 月 日	十九
1093	一 伏見並山口藩土工兵ヲ大坂ニ遣ル	三 年 十 月 日	二十
1094	一 高野郷士ヲ兵部省附屬トナシ下立賣割省ニ繰込	三 年 十 月 廿 九 日	廿一
1095	一 多田郷士處分	三 年 十 月 廿 九 日	廿二
1096	一 八王子同心ニ邸地ヲ下付ス	三 年 十 月 廿 九 日	廿三
1097	一 豊石ニ別屯在ノ山口藩奇兵振武ニ隊ヲ	三 年 十 月 廿 九 日	廿四
1100	一 東京常備兵トナシ其藩地ニ置カシム	三 年 十 月 廿 九 日	廿五
1100	一 山口藩常備兵ヲ親兵ニ充ント請フ批シテ東京常備ニ充テシム	三 年 十 月 廿 九 日	廿五
1106	一 山口藩常備兵上京ニ関シ處置方ヲ候ス	三 年 十 月 廿 九 日	廿六
1108	一 東京常備兵ヲ命セシ山口藩兵員尙其藩地ニ置費用ヲ給ス	三 年 十 月 廿 九 日	廿七
1109	一 山口藩所管ノ常備兵中一大隊ヲ召ス而シ其屯所ハ後命ヲ改メシム	三 年 十 月 廿 九 日	廿八
1110	一 山口藩常備兵一大隊ヲ兵部省ノ管轄トナシ大坂陸軍所ニ出サシム	三 年 十 月 廿 九 日	廿九

(マイクロ)
コマ番号

- 1111 一 山口藩徴兵至ル築地本願寺ヲ以テ假ニ
營所ニ充ツ尋テ又西城大寺下明屋敷ニ
轉陣セシム 三年 三
- 1127 一 高知藩奇兵管轄ノ事ヲ候ス 三年七月 三
- 1128 一 鹿兒島藩豫備兵歸藩ノ願ヲ允ス 三年九月十日 三
- 1130 一 兵部省佐賀山口兩藩徴兵ノ交代兵至ル
ヲ稟報ス 三年四月十日 三
- 1131 一 鹿兒島藩徴兵交代ニ際シ外國船ヲ以テ
之ヲ送致ス 三年五月十日 三
- 1132 一 岡山藩兵隊交代ヲ申報ス 三年五月 三
- 1134 一 熊本外諸藩兵隊東京警衛場所並屯所ヲ
定ム 四年五月 三
- 1136 一 鹿児島藩ノ部兵ヲ以テ親兵ト為ス 三年七月七日 三
- 1137 一 薩長土三藩ニ令シテ御親兵ヲ徴シ兵
部省ニ管轄セシム 四年七月十日 三
- 1141 一 山口藩ニ令シ御親兵ヲ徴スヲ以テ高割
徴兵ヲ停ム 四年四月 三
- 1142 一 薩長土三藩ノ徴兵隊号ヲ定ム 四年四月十日 三
- 1143 一 山口藩徴兵第三聯隊第一大隊ヲ御親兵
五番大隊ト唱ヘシム 四年五月七日 三
- 1144 一 元高知藩親兵ヲ八番大隊ニ編ス 四年五月十日 三
- 1145 一 高知藩騎兵ニ小隊ヲ御親兵騎兵隊ト唱
ヘシム 四年六月十日 三
- 1146 一 高知藩砲兵ニ砲隊ヲ御親兵五番砲隊六
番砲隊ト唱ヘシム 四年六月十日 三
- 1147 一 元高知藩後著ノ親兵ヲ九番大隊ニ編ス 四年七月十日 三

(マイクロ)
コマ番号

- 1148 一 元山口藩徴兵ヲ親兵六番大隊ニ編ス 四年七月十日 三
- 1149 一 一番二番三番四番砲隊ヲ親兵トシニ砲
隊ニ編制ス 四年七月十日 三
- 1150 一 親兵四番大隊ヲ廢ス 四年七月十日 三
- 1151 一 七番隊徴兵ヲ遊軍隊ト改稱ス 四年七月十日 三
- 1152 一 第二遊軍隊ノ名稱ヲ廢シ伏水練兵場へ
繰込 四年七月十日 三
- 1153 一 橋田安西家ノ管兵ヲ大隊ニ編入ス 三年七月十日 三
- 1154 一 大坂兵部省出張所ニテ歩兵第一聯隊第
一大隊ヲ編制ス 三年七月十日 三
- 1155 一 大坂兵部省出張所ニテ遊軍隊ヲ置ク 三年七月十日 三
- 1156 一 第三第四大隊第二聯隊ト稱セシム 四年七月十日 三
- 1157 一 西海道鎮臺各地出張ノ兵隊隊名並徽章
等ヲ定ム 四年七月十日 三
- 1158 一 岡山藩兵員ヲ調査録上ス 四年七月十日 三
- 1159 一 甲斐府ヨリ府兵徴兵ノ陣列等ヲ何定ス 三年七月十日 三
- 1161 一 藩士兵卒員數ヲ調査ス 三年七月十日 三
- 1164 一 常備編隊員數ノ規則ヲ定ム 三年七月十日 三
- 1166 一 常備兵ヲ諸藩ニ置キ諸隊編制員數ヲ定
ス 三年七月十日 三
- 1180 一 諸縣ノ兵員ヲ有スル者ハ其編制ヲシテ
諸藩ニ准シ改正セシム 三年七月十日 三
- 1187 一 諸藩石高士卒兵隊等調査雛形ヲ定ム 三年七月十日 三
- 1188 一 諸府縣管内常備兵員及兵器等調査録上
セシム 三年七月十日 三
- 1189 一 盛岡縣兵隊員數ヲ開申ス 三年七月十日 三

第一編
一一 兵制

1191	一各藩ノ常備兵員ヲ定ム	元禄九年六月	三五
1193	一各藩ノ常備兵編制法ヲ定ム	元禄九年六月	三六
1208	一久居藩賦兵規則ヲ定ム	元禄九年六月	三七
1212	一山形縣兵隊編制杖官員ヲ置シテ請フ	元禄九年六月	三八
1213	一福山藩常備兵員及軍資ノ處分ヲ候ス	元禄九年六月	三九
1214	一小濱藩兵隊令官等級ヲ假定ス	元禄九年六月	四十
1216	一岩國藩常備編制其他紀律大坂兵學家ノ管轄ヲ受ク	元禄九年六月	四一
1217	一日光縣下同心ノ輩兵隊ニ編制セシテ請フ	元禄九年六月	四二
1219	一山國神主ヲ鳥取藩兵ニ編入ス	元禄九年六月	四三
1220	一水原縣兵員ヲ兵部省ニ屬ス	元禄九年六月	四四
1221	一兵部省ニ令シ兵員ヲ水原縣ニ派遣セシム	元禄九年六月	四五
1225	一京都府所管ノ藩兵ヲ兵部省出張所ニ管セシム	元禄九年六月	四六
1226	一京都府所管ノ藩兵ヲ兵部省出張所ニ管セシム	元禄九年六月	四七
1229	一京都出張所所管ノ兵員ヲ大坂出張所ニ管セシム	元禄九年六月	四八
1230	一橋田安西家ノ兵員ヲ兵部省ニ管セシム	元禄九年六月	四九
1231	一鯖江藩柏崎縣戍兵交代歸藩ヲ申報ス	元禄九年六月	五〇
1232	一新潟港守衛兵食等藩費ヲ以テ支給セシム	元禄九年六月	五一
1233	一新潟縣該港常備兵ヲ三條表ニ配置セン	元禄九年六月	五二

二三四

1234	一豐浦藩ニ兵ヲ出シ佐渡鎮臺隨從ト為シ越後路出張兵ニ併合セシム	元禄九年六月	五三
1235	一東京守衛熊本藩兵一大隊ヲ日田縣へ派遣ス	元禄九年六月	五四
1236	一熊本佐賀西藩ノ兵ヲ西海道鎮臺ニ出カシム	元禄九年六月	五五
1237	一豐津藩兵一中隊ヲ日田縣へ出張セシム	元禄九年六月	五六
1239	一鹿兒島熊本佐賀三藩ニ緩急事變ノ際西海道鎮臺本支營へ隨時出兵ノ用意ヲ心得シム	元禄九年六月	五七
1240	一徳島藩兵ヲ甲府縣へ出張セシム	元禄九年六月	五八
1241	一岡山藩兵隊一大隊ヲ福島縣ニ出ス	元禄九年六月	五九
1242	一江刺縣出張兵隊及福島縣出張岡山藩兵隊ヲ引揚ケ別隊ヲ以白石ニ出張セシム	元禄九年六月	六〇
1243	一濱田縣下兵備ヲ設シテ請フ	元禄九年六月	六一
1245	一植村家保ノ兵ヲ京師ニ徵ス	元禄九年六月	六二
1246	一九鬼隆備病アルヲ以テ先ツ兵ヲ京師ニ出シ福岡藩臣ノ京ニ在ル者見兵ヲ以テ守備ニ服セント請フ	元禄九年六月	六三
1247	一岡崎今治二藩ノ兵ヲ京師ニ出カシム	元禄九年六月	六四
1249	一藤堂高邦兵ヲ出ス能ハサルヲ稟ス	元禄九年六月	六五
1250	一櫻井忠興ノ本城守備ノ為ノ兵ヲ出スヲ止ム	元禄九年六月	六六
1251	一織田長易兵ヲ京師ニ出ス	元禄九年六月	六七
1252	一松平忠和ノ老臣藩兵京ニ至ルヲ稟シ使役ニ供セント請フ	元禄九年六月	六八

(マイクロ番号)

- 1253 一 小笠原忠忱ノ老臣兵ヲ率テ京ニ至ル 天保十一年 九九
- 1254 一 丹羽長國ノ臣在京ノ兵ヲ罷歸セント請フ報セス 天保十一年 百
- 1255 一 新莊直敬兵費ヲ出シ徵兵ニ代フ 天保十一年 百一
- 1257 一 尾張藩高割ノ徵兵ヲ出ス 天保十一年 百二
- 1258 一 三浦顯次一小隊ヲ京ニ出ス 天保十一年 百三
- 1259 一 大總督府徳川家達ニ令シテ暫ク其隊兵ヲ解カシム 天保十一年 百四
- 1261 一 攝州多田郷士兵隊解散等ノ事ヲ處分ス 天保十一年 百五
- 1263 一 神衛隊ヲ解キ舊籍ニ復セシム 天保十一年 百六
- 1264 一 兵制改革ヲ以テ従来ノ編成ニ係ル隊伍ヲ解キ歸邑セシム 天保十一年 百七
- 1265 一 軍務官ニ箱館府ノ解隊兵ヲ管セシム 天保十一年 百八
- 1266 一 小笠原貞孝藩力疲弊ヲ以テ其請ヲ聽シ在京兵ヲ罷ム 天保十一年 百九
- 1267 一 平松家丹陽隊ヲ解隊ス 天保十一年 百十
- 1271 一 島原藩徵兵井上三四郎歸休 天保十一年 百十一
- 1272 一 甲府縣隆武隊護國隊ヲ解隊セシム 天保十一年 百十二
- 1275 一 鹿兒島藩ノ請ヲ聽シ出張ノ豫備兵ニ暇ヲ賜フ 天保十一年 百十三
- 1276 一 兵部省所轄兵隊ノ内籍外無産ノ者除隊ヲ復籍セシム 天保十一年 百十四
- 1277 一 第一遊軍隊並田安一橋ノ獻兵ヲ解隊シ田安一橋獻兵ヲ更ニ東京府ノ警戒兵ト為ス 天保十一年 百十五
- 1278 一 高松藩岡田菊次郎外一名除隊復籍後本 天保十一年 百十六

(マイクロ番号)

- 1279 一 藩ノ公務ニ服ナルヲ聽ス 天保十一年 百十七
- 一 兵部省兵卒元涼尾藩管内農村木代吉養父病氣ニ付對面ヲ許ス 天保十一年 百十七
- 1280 一 加納藩常備兵ヲ解隊シ軍資器械ヲ官納ス 天保十一年 百十八
- 1281 一 朝日山藩常備兵ヲ解隊シ軍資器械ヲ官納ス 天保十一年 百十九
- 1282 一 重原藩解兵歸農セシメ軍資兵器ヲ官納センコトヲ請フ之ヲ聽ス 天保十一年 百二十
- 1284 一 苗水藩常備兵ヲ解隊シ軍資金ヲ上納セシム 天保十一年 百二十一
- 1285 一 駿遠二州ノ出身報國赤心ニ隊ヲ解キ各生業ヲ管マシム 天保十一年 百二十二
- 1286 一 各地海岸漁師ヲ海軍水卒ニ徵募ス 天保十一年 百二十三

マイクロ
コマ番号

大政類典第一編第九卷索引

兵制

艦船

- 1292 一薩摩藩英商ニ託シテ軍艦春ヲ清國上
海ニ修繕セントス因リテ英國ノ旗章ヲ
假用センコトヲ長崎裁判所ニ請フ之ヲ
聽ス
- 1293 一幕府ノ軍艦ヲ收ムル順序ヲ豫定ス
- 1298 一 大總督府田安度頼ニ令シテ徳川氏ニ軍
艦四隻ヲ賜ヒ其餘ハ悉ク之ヲ收ム
- 1299 一 外國事務局權判事陸奥宗光ニ鑛鐵軍艦
購求金調達御用ヲ命ス
- 1300 一 諸藩ニ令シテ所有ノ艦船ヲ録上セシム
- 1339 一 長門藩ニ命シテ舊幕府米利堅國ニ購買
セシ所ノ裝鐵艦ヲ交收セシム
- 1342 一 長門藩購買スル所ノ軍艦名號砲數並兼
組人員等ヲ録上セシム
- 1343 一 名古屋藩所持ノ船艦ヲ調査録上ス
- 1344 一 伊知地貞馨ニ軍艦購買御用批ヲ命シ大
坂貨幣司ニ參セシム
- 1345 一 長門藩所管ノ飛龍丸ヲ柳川藩ニ保管セ
シム
- 1346 一 蒸氣御艦ヲ軍務官ニ於テ購買セシム
- 1347 一 兵員及諸艦ノ員數ヲ調査ス
- 1350 一 軍艦武藏丸品川川ニ於テ沈没セシヲ以
テ溺没ノ死歟ヲ認ムル者ハ軍務官ヘ届

マイクロ
コマ番号

- 1351 出テシム
- 1352 一 兵部省船艦受渡ノ處分稟申ス
- 1353 一 軍艦攝津丸ヲ廣島藩ニ保管セシム
- 1354 一 廣島藩保管スル所ノ攝津艦ヲ返納セン
ト請フ之ヲ聽ス
- 1355 一 熊本藩ニ令シ甲鐵艦ヲ品川海ニ迴送シ
天覽ニ供セシム
- 1357 一 兵部省外國製軍艦購求ヲ請フ
- 1361 一 諸藩獻艦ノ入費ヲ交付ス
- 1362 一 山口藩艦録上ノ期ヲ延ヘンテ稟ス
- 1363 一 山口藩保管スル所ノ華陽丸處分ヲ候
ス
- 1366 一 山口藩軍艦鳳翔丸雲揚丸ヲ官納シ艦代
ヲ以テ海軍資金ニ流用センテ請フ批
シテ獻艦ヲ聽シ其艦代ヲ下付シテ更ニ
海軍資金ヲ上納セシム
- 1368 一 船艦製造ニ付良材伐木ノ為ノ兵部省官
買ヲ府藩縣ニ差遣ス
- 1372 一 艦材伐木ノ為メ兵部省官員ヲ差遣スル
ヲ以テ出張以前伐木スルヲ停止
- 1373 一 兵部省ニ令シ艦材取調並伐木ノ際ハ民
部省ヘ照會取計ハシム
- 1375 一 兵部省橫須賀製鐵所ヲ海軍所ニ屬セン
テ請フ
- 一 甲鐵艦橫須賀ニ於テ修復ニ付大臣等ノ
臨見ヲ請フ

マイクロ
コマ番号

- | | | | |
|------|-------------------------------------|--------|-----|
| 1376 | 一 兵部省軍艦ノ負數並名號等ヲ調査録上
却ス | 四十六月 | 廿八 |
| 1378 | 一 東京丸ヲ購求シ行速飛準飛龍三船ヲ賣
却ス | 四十六月廿日 | 廿九 |
| 1380 | 一 大坂兵部省東京管轄船艦ノ欠乏品ヲ根
省ニ於テ贖ハンテラ照會ス | 三十九月廿日 | 三十 |
| 1381 | 一 春日艦ノ長崎港警衛ヲ罷メ横濱港警衛
並諸港應援ヲ命ス | 三十九月廿日 | 三十一 |
| 1382 | 一 兵部省所管ノ艦船ヲ大坂ニ遣ルノ令ヲ
停ム | 三十九月廿日 | 三十二 |
| 1383 | 一 鹿兒島藩ヨリ執行艦乗組一統賜暇ヲ請
フ | 三十九月廿日 | 三十三 |
| 1384 | 一 淀藩城附ノ船船及ヒ水主ヲ廢ス | 三十九月廿日 | 三十四 |
| 1385 | 一 虹橋船上總國根津浦ニ於テ暗礁ニ觸レ
破損ス | 三十九月廿日 | 三十五 |

太政類典第一編第一百卷索引

兵制門
兵學

- 0022 一 兵學校規則ヲ設ク 元年七月廿五日
- 0023 一 兵學令ヲ定ム 元年十月十九日
- 0032 一 兵學校禁戒定則ヲ定ム 四年七月
- 0035 一 教導隊生徒ヲ金澤以下十藩ヨリ募集ス 四年十月廿五日
- 0036 一 兵部省中ニ教導團ヲ設ク 四年十月廿五日
- 0037 一 海軍兵學寮規則并同寮内則ヲ定ム 五年十月廿五日
- 0086 一 海軍兵學寮生徒入寮規則ヲ定ム 五年十月廿五日
- 0089 一 大阪兵學校諸生徒ノ豫算ヲ設ク 五年十月廿五日
- 0092 一 兵學寮中生徒衣服等ノ給養費ハ其藩々ニ負擔セシム且其費額ヲ定ム 五年十月廿五日
- 0094 一 練兵教授方及士官兵士等ノ心得ヲ示ス 五年十月廿五日
- 0098 一 軍務官ニ兵學校ヲ建テ堂上并非藏人諸官人ノ志アルモノハ勤學セシム 五年十月廿五日
- 0099 一 兵學校諸成生徒入學志願許可アラントラ票ス 五年十月廿五日
- 0100 一 兵學建設ノ為ノ大村兵部大輔ヲ京ニ召ス 五年十月廿五日
- 0101 一 橋本實陳外一名ニ兵學修行ヲ命ス 五年十月廿五日
- 0102 一 長因備三藩ノ兵卒ヲ大阪兵學校ニ募集ス附器械製造等ノ地所ヲ定ム 五年十月廿五日
- 0103 一 大炊御門從三位外五名ニ今シ大阪兵學寮ニ於テ勤學セシム 五年十月廿五日
- 0104 一 静岡藩沼津兵學校教員及生徒ヲ兵學寮ニ於テ勤學セシム 五年十月廿五日

- 0105 一 貢進センコトヲ請フ 五年十月廿五日
- 0111 一 諸藩石高ニ應シ陸軍生徒ヲ大阪兵學寮ニ貢セシム 五年十月廿五日
- 0112 一 山口藩兵隊一大隊佛式修業ノ為メ大坂ニ派出ス 五年十月廿五日
- 0113 一 新藤田藩小山勝三横濱ニ於テ英人ニ隨從砲術ヲ修業センコトヲ請フ之ヲ聽ス 五年十月廿五日
- 0115 一 東京府士族關本金三郎外一名佛式銃隊ヲ修業センコトヲ請フ 五年十月廿五日
- 0116 一 海軍吏張ニ付從來海軍ニ志シ學術修行若クハ其道ニ勤務セル者ノ姓名等ヲ詳記錄上セシム 五年十月廿五日
- 0119 一 肥後薩摩越前ノ三藩士中從來外國ニ留學セル者ヲ改テ留學生ト為ス 五年十月廿五日
- 0122 一 兵學寮生徒柏村庸之允外九名教帥ヒエラン氏歸國ニ付隨從佛國ニ留學ス 五年十月廿五日
- 0124 一 佛國ニ留學セル大田德太郎渡六之助ノ二人ヲ海軍兵學寮生徒ニ加ヘ德太郎ニ砲兵學科六之助ニ步兵學科ヲ修業セシモンコトヲ請フ之ヲ聽ス 五年十月廿五日
- 0125 一 鹿兒島藩前田十郎左衛門ヲ外國ニ留學セシメンコトヲ請フ 五年十月廿五日
- 0132 一 海軍生徒前田十郎左衛門外一名英國軍艦ニ乘組航海術修業尋テ英國ニ留學ス故大村兵部大輔息松二郎海軍修業ノ為ニ英國ニ留學 五年七月

(マイクロ
フィルム番号)

- 0/135 一 柳河藩士佐藤静雄英國へ留學 四年四月廿日 廿九
- 0/137 一 兵學寮生徒横井平次郎外十五名英米兩國へ留學 四年五月廿日 三十
- 0/140 一 造船局出仕丹羽雄九郎外一名造船學等修業ノ為英米兩國へ留學 四年六月 三十一
- 0/142 一 名古屋藩士族柴田承桂外五名米歐へ留學 四年七月廿日 三十二
- 0/144 一 英國留學服部譜藏ヲ海軍官費留學生ト為ス 四年七月 三十三
- 0/145 一 松平土佐守家米大佛境内ニ於テ大小砲替古ノ願ヲ許ス 慶應三年三月廿日 三十四
- 0/146 一 兵ヲ建春門前ニ閱スルヲ以テ動搖ナクヲシム 慶應三年三月廿日 三十五
- 0/147 一 長門藩時々兵ヲ二條河東ニ操練セシム 元年正月廿日 三十六
- 0/148 一 軍防事務局督加賀阿波以下十三藩ノ兵ヲ洛東聖護院村ニ閱ス又在京諸候ニ令シヨラ刺シテ其兵ヲ簡練セシム復古記 元年四月廿日 三十七
- 0/152 一 調練賣興トシ酒肴ヲ賜フ 元年五月廿日 三十八
- 0/153 一 御留守中御警衛ノ諸藩兵隊ヲシテ兵式ニテノ日蘭式五十ノ日河東操練場ニ於テ教練セシム 元年五月廿日 三十九
- 0/154 一 軍務官ニ於テ御馬當物ノ為メ發砲時間ヲ令ス 二年三月 四十
- 0/155 一 浴西太秦村ニ於テ谷大膳亮練兵ノ節發砲スルヲ報ス 二年四月 四十一

(マイクロ
フィルム番号)

- 0/156 一 下久河原ニ於テ大砲試験ノ為打發ス 二年四月 四十二
- 0/157 一 久世郎紅明場所ニ於テ大砲ヲ試發ス 二年五月廿日 四十三
- 0/158 一 本城跡ニ於テ五十ノ日ヲ以テ小銃射的ノ旨ヲ令ス 二年五月廿日 四十四
- 0/159 一 御留守警衛各藩兵隊演習規則ヲ定ム 二年六月 四十五
- 0/160 一 大聖寺藩千駄木郎ニ於テ空發調練ヲ為ス 二年六月廿日 四十六
- 0/161 一 兵部省関口製造所ニ於テ信号火々箭等試發ノ請ヲ批可ス 二年七月 四十七
- 0/162 一 石川島ニ於テ大砲試験ノ為實彈打發 二年八月 四十八
- 0/163 一 兵部省品川海艦隊簡練ハ時々稟報セサレ旨ヲ稟告ス 二年八月 四十九
- 0/164 一 海軍操練所生徒習業ノ為發砲ヲ放發ス 二年四月 五十
- 0/165 一 ルヲ稟定ス 四年四月 五十一
- 0/166 一 海軍生徒漸ク進歩スルヲ以テ寮中修業場ニ於テ火入調練ヲ為スヘキヲ稟定ス 四年五月 五十二
- 0/167 一 浦賀邊ニ於テ軍艦操練并實彈打放軍功賞及恤典 四年五月 五十三
- 0/169 一 征討諸軍ノ勳功式ヲ定ム 元年九月廿日 五十四
- 0/173 一 鎮將府辦事判事史官ニ令シテ出征諸藩戰功賞格ノ意見ヲ上ラシム復古記 元年八月 五十五
- 0/174 一 出征諸藩ニ令シ小藩ノ其宗藩若クハ大藩ニ隸屬セシ者ハ其功勞ヲ精覈シ隠没ノ憾ナカラシム 元年九月廿日 五十六
- 0/174 一 列藩及參謀軍監長官等ニ諸道戰士實地功勞ノ事蹟ヲ精査判別セシム 元年九月廿日 五十六

マイクロ
フィルム
番号

- 0175 一 将士勲功ノ等級未ク確定セサルヲ以テ
一旦還幸ノ上速ニ賞典ヲ舉行スヘキヲ
令ス 元年十月廿日 五七
- 0176 一 賞典料ヲ百万石ト定メ其中八十万石ヲ
以軍功賞ニ充ツ 元年十月廿日 五八
- 0177 一 賞典舉行ニ関シ諸道参謀ヲ東京ニ召ス
因テ軍務官ニ令シ其姓名ヲ録上セシム 元年十月廿日 五九
- 0178 一 軍功賞取調御用撰ヲ置ク 元年十月廿日 六〇
- 0179 一 詔シテ征討將士ノ有功ヲ賞ス 元年十月廿日 六一
- 0180 一 賞典辭令文例ヲ定ム 元年十月廿日 六二
- 0181 一 賞典判物文例ヲ定ム 元年十月廿日 六三
- 0182 一 諸藩ニ令シ從軍死傷者ノ姓名ヲ録上セ
シム復古記 元年十月廿日 六四
- 0183 一 徵兵慰勞金ノ比例ヲ設ク 元年十月廿日 六五
- 0184 一 詔シテ函館征討將士ノ戦功ヲ賞ス 元年十月廿日 六六
- 0185 一 大坂兵部省正月二日祝酒賜方ヲ大坂出
張所ニ通報ス 元年十月廿日 六七
- 0186 一 第三遊軍解隊歸籍ノ者ニ手當金ヲ給ス 元年十月廿日 六八
- 0189 一 水卒探用ノ家族ニ扶助米ヲ給ス 元年十月廿日 六九
- 0190 一 高槻藩管下多田隊故福原直七郎へ祭資
金ヲ賜フ 元年十月廿日 七十
- 0193 一 戊辰ノ役備役夫死傷等ノ者へ手當賜方
ヲ定ム 元年十月廿日 七一
- 0196 一 官員ノ溢溺屠腹等自盡者ニ給スル録額
ヲ稟定ス 四年七月廿日 七十二

マイクロ
番号

太政類典第一編第百十一卷索引

兵制

- 0200 徽章一
- 0201 兵部省衣服ノ制度ヲ定メテ建議ス
海軍制服及陸軍徽章ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0243 布告 一海軍夏季ノ制服ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0246 稟告 一海陸軍文官ノ制服製式ヲ稟議ス
三十五年五月
兵部
- 0247 稟候 一親兵ノ徽章ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0260 稟候 一陸軍兵徒ノ制服ヲ定ム
三十五年五月
兵部
- 0261 稟告 一兵部省官員參朝並出省ノ節軍服用著用ヲ
許ス禮式並御前議事等ニハ服用ヲ許サ
ス
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0262 稟候 一姫路藩ニ陸軍制服便宜著用ヲ許ス
三十五年五月
兵部
- 0263 布告 一武官ニ朝拜禮式ノ陸軍服用ヒシム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0264 公 一宮門警衛諸藩ニ旗幕挑燈ニ菊御紋ヲ用
ヒシム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0267 達 一仁和寺宮ニ錦旗節刀ヲ賜フ
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0271 公 一東北平定歸藩ノ者ニ貸典ノ旗章ヲ返納
セシム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0272 稟請 一第三第四兩隊士官及嚮導銃卒ノ冠リ物
ヲ改定ス
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0273 布告 一陸軍國旗章並諸旗章及兵部省挑燈幕等
ノ圖式ヲ示シ府藩縣ヲシテ之ニ擬似ス
ル者ヲ止ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0284 布告 一海軍御旗國旗及諸旗章ヲ示シ各省府藩
誌
三十五年五月
衆規淵鑑

一 二 三 四 五 六 七 八

マイクロ
番号

- 0292 稟候 一縣ヲシテ之ニ擬似スル者ヲ止ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0293 照會 一米澤藩兵隊旗號ニ日章ヲ用ユルヲ止ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0294 稟候 一親兵軍服徽章調査迄假ニ上士官ニ下付
スル印鑑ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0295 通牒 一兵部省法皮及提灯ノ徽章ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0296 通牒 一京都兵部省下部着用ノ法被ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0297 一京都會計司用宿ニ下付スル提灯ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0298 達 一京都三藩徵兵ノ提灯並ニ當代ヲ給ス
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0299 兵部省目標ノ提灯ヲ燈シ遊所劇場ニ入
ルヲ禁ス
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0300 照會 一京都市民ノ兵隊提灯ノ印ヲ私用スルヲ
禁ス
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0301 稟候 一諸門取歸軍監及使役ノ提燈ヲ定ム
三十五年五月
兵部
- 0302 公 一兵部省官員並海陸軍提燈合印ヲ改定ス
三十五年五月
兵部
- 0303 公 一新募親兵ノ提灯ヲ定ム
三十五年五月
衆規淵鑑
- 0304 公 一諸藩兵隊ノ旗章ヲ一定ヤンテ請フ
三十五年五月
兵部
- 0305 公 一制度局御艦及ヒ軍艦旗ノ徽章ヲ定メ
テ請フ
三十五年五月
衆規淵鑑

十七 十八 十九 二十 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十

マイクロ
第一編 一一 兵 制

大政類典第一編第一百十二卷索引

兵制門

徽章ニ

0308 達

- 一 諸藩戎服ノ徽章ヲ録上セシム
- 一 同上諸藩上申

元享元年
復古記

マイクロ
コマ番号

太政類典第一編第百十三卷索引

會計

兵制

一 諸藩陪臣其外軍事ニ採用ノモノ、月給額ヲ定ム 元年三月六日

一 隊長月給ヲ定ム 元年六月十日

一 兵士俸給ヲ定ム 二年三月廿日

一 補助官ヲ創設シ其俸給ヲ定ム 二年十一月日

一 伏水在陣ノ親兵大隊司令身分取扱及大隊司令以下俸給額 二年十一月廿日

一 兵部省假ニ諸隊ノ月給ヲ定ム 二年十月廿日

一 兵部省諸隊ノ月給ヲ定ム 三年八月

一 兵部省陸軍下等士官給俸及賑恤扶助定 三年閏十月日

則ヲ制定ス

一 大坂陸軍野俸額上梓一定センヲ稟議ス 四年正月十日

一 陸軍大佐以下月給ニ等級ヲ設ク 四年五月廿日

一 兵部省陸軍士官給俸諸定則ヲ制定ス 四年七月

一 伏見練兵場出張職員賄方 五年二月廿日

一 薩長土三藩ノ兵ヲ徴スヲ以テ月給并給料規則ヲ定ム 二年

一 兵部省薩長土肥四藩ノ徴兵交代ノ旅費支給方ヲ便ス批シテ上京ハ軍資豫備米ノ内ヲ以テシ歸藩ハ同省定額内ヲ以テ支辨セシム 三年

一 兵部省諸門見附取締軍監並使役ヲ置キ 三年二月九日

マイクロ
コマ番号

提燈及月給ヲ定ム

一 東西京警衛兵及諸縣成兵等ノ兵食給與方ヲ便ス 三年九月

一 府藩縣徴兵支度料並管所ニ到ル旅費規則ヲ定ム 四年正月十日

一 上下士官及位長兵卒被服食料下賜方ヲ定ム 四年五月廿日

一 砲臺騎兵ノ食料額ヲ定ム 四年六月三日

一 海軍練習ノ為メ請フテ兼艦スル者ノ月給ヲ廢ス但シ賄料ハ舊ニ依ル 四年七月廿日

一 兵部省水火夫等月給額ヲ定ム 四年八月六日

一 兵部省海軍下等士官以下月給表ヲ制定ス 四年十月十日

一 兵部省軍繼乘組官員月給表ヲ制定ス 四年十月十日

一 軍資金貢獻ニ宗家支族合一シテ之ヲ納ムルヲ停ム 四年十月廿日

一 軍資金上納仕譯書雜形ヲ定ム 四年十一月廿日

一 中下大夫上士ノ軍資金ハ京都住居ノ者ハ京都軍務官東京住居ノ者ハ東京出張ノ軍務官ニ納メシム 五年七月七日

一 中下大夫上士ノ軍資金上納ノ順序ヲ令ス 五年十月十日

一 舊旗下ヲシテ其采邑ヲ奉還セシム中下大夫上士ノ軍資金ヲ上納スル丁此歳ニ止マル 五年二月

一 軍資金東京大藏省へ上納セシモノヲ 五年六月

(マイクロ)
(コマ番号)

0539	候ス 一 兵部省ノ定額ヲ現米三十萬石ト爲シ米 數ノ時價ヲ以テ下付ス附兵部省諸藩軍 資金ヲ再々同省ヘ納メシノシトテ候ス 一 藩高ノ内海陸軍資ニ充ル比例ヲ定ム 一 軍資上納規則及軍資米石代五ヶ年平均 ノ方法ヲ議ス 三年四月廿七日	三十一
0542	一 藩高ノ内海陸軍資ニ充ル比例ヲ定ム 三年四月廿七日	三十一
0543	一 軍資上納規則及軍資米石代五ヶ年平均 ノ方法ヲ議ス 三年四月廿七日	三十一
0544	一 海陸軍費ヲ制定シ従前ノ軍資金ヲ廢ス 三年四月廿七日	三十一
0545	一 海軍資金ノ納期及其石代相場ヲ設ケ方 ヲ定ム 三年四月廿七日	三十一
0546	一 現米三十萬石並諸藩上納ノ海軍資金ヲ 兵部省ニ交付シ海陸軍諸般ノ用度ニ充 テシム 三年四月廿七日	三十一
0549	一 海軍資金上納石代平均相場一石ニ付八 西永九拾文ト定ム 三年四月廿七日	三十一
0550	一 諸藩ノ納付セル海軍資金ハ毎季之ヲ兵 部省ニ交付ス 三年五月廿四日	三十七
0551	一 海軍資金納付ノ際端數ノ金員納付方ヲ 定ム 四年一月廿三日	三十八
0552	一 諸藩軍資ニ充ツル石高四拾五入ノ方ヲ 以テ外ニ止メ合以下ヲ除去セシム 四年四月廿四日	三十九
0553	一 海軍資收納水單損毛ノ節減額ノ規則ヲ 候ス 四年四月廿四日	四十
0554	一 海軍資金ノ内金札ヲ貳分金ト交換ス 五年五月十日	四十一
0555	一 是ヨリ先上井利與軍資ヲ東海道總督府 ニ給貸ス是日書ヲ朝ニ上リ之ヲ獻セン 五年五月十日	四十一

(マイクロ)
(コマ番号)

0556	ト請フ 一 松平定安軍資ヲ獻セント請フ批シテ之 ヲ借ル 六年六月廿六日	四十二
0557	一 九鬼隆義金ヲ獻シテ軍費ニ充メトテ 請フ之ヲ聽ス 六年六月廿六日	四十四
0558	一 平海口總督府相馬季胤ニ命シテ東京ニ 至リ復封ノ恩ヲ謝セシム尋テ季胤金一 萬兩ヲ獻シテ軍費ニ充テシコトヲ請フ 之ヲ聽ス 六年七月廿七日	四十五
0561	一 鳥羽藩軍資金貢獻殘金上納方ヲ候ス 五年五月	四十六
0562	一 鳥羽藩軍資金上納難進ノ儀歎願ニ付公 廟費ヲ取調進達セシム 五年五月	四十七
0571	一 兵部省官員軍資金補充ノ為官給四分一 ヲ獻センコトヲ請フ 五年七月	四十八
0572	一 結城藩出兵ノ節費用ヲ賜ルヤ否ヲ候ス 五年十月	四十九
0573	一 軍資金ヲ以テ支辨スヘキ旨ヲ今ス 二年十一月廿九日	五十
0574	一 久居藩公廟費ヲ減シ軍資ヲ増納セント 請フ之ヲ聽ス 四年正月廿三日	五十一
0575	一 鳥羽藩公廟費ヲ減シ軍資ヲ増納セント 請フ之ヲ聽ス 四年正月廿三日	五十一
0576	一 菊間藩海軍資金納方ヲ候ス 五年三月廿八日	五十二
0577	一 菊間藩海軍資金上納方ヲ稟定ス 四年四月廿四日	五十三
0579	一 柴山藩海軍資金上納方ヲ稟報ス 五年五月廿四日	五十四
0581	一 松尾藩海軍資金上納方ヲ稟報ス 四年三月	五十五
	一 金澤藩海軍資金正米ヲ以上納ヲ請フ許サ ス 四年二月	五十六

(マイクロ)
(コマ番号)

0582 一金澤藩海軍資曾テ調達ノ金穀差引納ヲ請フ許サス 四年六月 五十七

0583 一廣島藩海軍資上納高ヲ稟報ス 四年六月 五十八

0584 一花房藩海軍資上納方猶豫ヲ請フ 四年三月 五十九

0586 一大泉藩軍資金上納延期ヲ請願シ翌年又海軍資金上納延期ヲ請願ス 五年 六十

0592 一東京府士族舊下大夫本多邦之助軍資金延納ノ願ヲ許サス 四年六月廿四日 六十一

0594 一軍務官一ヶ月ノ用途金等ノ額ヲ假定ス 二年二月廿四日 六十二

0595 一兵部省陸軍ニ裁ル諸費支出方ヲ稟候ス 四年二月十七日 六十三

0597 一熊本外四藩兵隊東京守衛ノ為出張ニ付兵食給與方ヲ候ス 五年二月 六十四

0598 一宮内省定額金中拾萬ヲ兵部省ニ特賜シ 四年二月廿四日 六十五

親兵ノ用度ニ充テシム
軍規

0599 一始テ陸軍法度ヲ定ム 元年四月廿四日 六十六

0600 一軍律ヲ定ム 二年四月 六十七

0602 一東京再幸諸軍ニ諭シ檢束ヤシム 二年三月廿四日 六十八

0603 一大政官軍令ヲ發ス 三年四月廿四日 六十九

0604 一陸軍局兵隊入卒ノ者扱方ヲ定ム 三年五月 七十

0605 一入卒ノ捕人取扱方ヲ定ム 三年十月廿四日 七十一

0606 一刑律中兵卒ノ犯罪ハ兵部省ヲシテ管セシム 五年二月廿四日 七十二

0608 一軍律決定マテ死刑ト雖モ藩知事又ハ隊長ノ所斷ニ任ス 五年三月 七十三

0609 一兵卒ノ犯罪ハ府民關係ノ事ト雖モ東京 五年三月廿四日 七十四

(マイクロ)
(コマ番号)

府ト協議ノ後之ヲ兵部省ニ付シ處斷セシム

0611 上申 一軍律確定マテ諸藩徵兵罪ヲ犯ス者死刑ハ朝裁ヲ仰キ流以下ハ兵部省ニ於テ處置ス 四年四月廿四日 七十五

0612 稟候 一岡山藩軍事刑法心得方ヲ候ス 五年六月廿四日 七十六

0613 稟候 一坊城少辨ノ率ユル兵卒旅行ノ途上不知所為ノ聞アルヲ以テ軍務官ヲシテ之ヲ調査セシム 五年四月 七十七

0614 上申 一福岡藩士四條陸軍少將隨從兵ニ對シ無禮セシヲ以テ之ヲ推問ス 五年四月 七十八

0620 水入達 一軍務官保々君三郎家従ノ犯罪ヲ糾彈シ君三郎ヲ謹慎ニ處ス 五年四月 七十九

0621 稟候 一數寄屋橋内警衛熊本藩人數ノ内鹿見島藩徵兵ニ對シ不穩振舞セシ者ヲ謹慎ニ處ス 五年二月 八十

0622 全 一銃手竹松外六名脱隊ニ付死刑ニ處ス 五年八月 八十一

0623 全 一長崎丸乗組政吉盜罪ヲ犯スヲ以テ斬刑ニ處ス 五年九月 八十二

0624 全 一松平容保元家東伊藤重次郎人ヲ殺シ財ヲ盜ムニ付死刑ニ處ス 五年十月廿四日 八十三

0625 全 一遊軍隊兵士新中重雄外五名脱走ノ罪ヲ斷シ斬ニ處ス 五年五月 八十四

0626 全 一兵隊守藏外一人無錢酒食スルヲ以テ死刑ニ處ス 五年五月十四日 八十五

0628 全 一兵卒ノ盜罪ヲ犯ス者ヲ梟首ニ處ス 五年三月 八十六

(マイクロ)
コマ番号

大政類典第一編第百十四卷索引

兵制

雜

- 0687 一 軍防局ニ兵制ヲ調査セシム 元年三月
- 0688 一 高知藩士長岡恂吉書ヲ上リ海軍ヲ振興セント請フ 元年四月廿六日
- 0690 一 彈正甚海軍擴張等ノ議ヲ上ル 元年十月
- 0692 一 兵庫縣知事伊藤博文兵制更革及ヒ凱旋兵士統取ノ議ヲ上ル 元年十月廿五日
- 0695 一 兵部省前途之大綱ヲ稟ス 元年五月廿六日
- 0697 一 海軍ハ英式ニ依テ興スヘキヲ山尾民部權大丞ニ令ス 元年十月廿日
- 0698 一 常備兵負海軍ハ英式陸軍ハ佛式ヲ斟酌シ之ヲ編制ス因テ各藩ノ兵モ陸軍ハ佛式ニ基キ漸次改正編制セシム 元年五月廿日
- 0700 一 軍務官親兵ノ規則ヲ定ム 元年四月廿日
- 0701 一 軍務官ニ命シテ海陸軍制ヲ確定セシム 元年四月廿日
- 0703 一 兵隊任法替ノ旨ヲ軍務官ニ令ス 元年四月廿日
- 0704 一 府縣兵ノ新ニ取建ヲ停メ軍務官一定ノ規則ヲ設クルヲ該テ規則改正セシム 元年六月廿日
- 0705 一 府縣ニ於テ變事ノ外ハ諸侯ノ兵ヲ指揮スルヲ禁ス 元年十月廿日
- 0706 一 新ニ府縣兵ヲ設クルコトヲ申禁ス 元年四月廿日
- 0707 一 兵隊長官ハ先ツ藩知事ニテ任用セシム 元年七月廿日
- 0708 一 長門藩彈藥缺乏スルヲ以テ濱藩邸貯

(マイクロ)
コマ番号

フル所ノモノヲ借ラント請フ

- 0709 一 東水願寺ニ存置ノ新撰組武器ヲ山口藩ニ交付ス 元年五月廿日
- 0710 一 彦根藩保管ノ銃砲ヲ堺縣ヘ引渡シ命ス 元年六月廿日
- 0711 一 松平慶倫ノ家臣植原某幕府ノ命ヲ受ケテ銃砲ヲ鑄造ス伏見ノ變起ルニ及ヒ慶倫其工場ヲ鎖シテ以聞ス命シテ砲數ヲ録申セシム是ニ至リ之ヲ上ル乃チ本藩ニ藏置セシム 元年六月廿日
- 0714 一 官軍盛岡ニ入り城中ヲ點檢シ兵器ヲ収メ乃チ秋田藩ニ命シテ之ヲ管セシム 元年十月
- 0724 一 江川大郎左衛門支配地ヨリ徳川新三位ヘ屬セシ宿村農兵ノ小銃ヲ軍務官ヘ納ム 元年十月廿日
- 0725 一 秋田藩預リノ大小砲并彈藥管理方ヲ候ス 元年五月廿日
- 0726 一 東北平定ニ依リ諸藩ヘ貸與ノ兵器ヲ上納セシム 元年五月廿日
- 0727 一 府縣砲銃備付ノ員數ヲ調査ス 元年十月廿日
- 0728 一 小田原藩兵備ノ為メ銃器下付ヲ請フ 元年五月廿日
- 0729 一 小田原藩ヨリ召揚ノ武器俵米下付願ノ慶分ヲ候ス 元年七月
- 0734 一 大手御門上ニアル甲冑等引取方ヲ兵部省ヘ命ス 元年四月廿日
- 0736 一 山形縣城中ノ武器腐朽スルヲ以テ其處分方ヲ候ス批シテ武庫司ヘ納メシム 元年十月廿日

(マイクロ) (コマ番号)

- 0737 一 土浦藩古製ノ武器ヲ賣却シテ銃砲等ヲ購求ス 三年十二月廿六日 三八
- 0738 一 久居藩大砲彈藥ノ内賣却額ヲ申報ス 三年十二月廿六日 廿九
- 0739 一 若松縣兵部省ヨリ交付ノ武器及斗南藩ノ大砲處分ヲ候ス 三年十二月廿六日 三十
- 0741 一 倉敷縣戸川伊豆等納付ノ武器處分ヲ候ス 三年十二月廿六日 三十一
- 0743 一 白川縣預リ兵卷縣廳入用ノ分ヲ除キ其餘ヲ兵部省へ納付セシム 三年十二月廿六日 三十二
- 0745 一 登米縣銃器彈藥ノ買收ヲ申報ス 三年十二月廿六日 三十三
- 0746 一 會計司在來陸軍ニ係ル諸物品ヲ武庫司ニ交付セシム 三年十二月廿六日 三十四
- 0747 一 仙臺藩管下ニ印封ノ兵器彈藥處分ヲ候ス 三年十二月廿六日 三十五
- 0749 一 武器運輸關門經過ノ規則ヲ定ム 四年五月廿五日 三十六
- 0750 一 山形縣預リノ彈藥銃器ノ處分ヲ候ス 四年五月廿五日 三十七
- 0751 一 名古屋鎮臺一小隊ニ目黒火藥庫警衛ヲ命ス 四年五月廿五日 三十八
- 0752 一 佐賀福井彦根三縣ニ令シ旧藩兵員及砲銃等調査方ヲ各縣ニ通達セシム 四年五月廿六日 三十九
- 0753 一 奥州産馬ヲ軍務官ニ管セシム 四年五月廿六日 四十
- 0754 一 奥州御領馬生産御用掛ヲ置ク 四年五月廿六日 四十一
- 0759 一 厩馬改正規則ヲ定ム 四年六月八日 四十二
- 0760 一 御用馬拜借ノ規則ヲ定ム 四年六月八日 四十三
- 0761 一 權少録權少佐以上ノ者ハ御用馬拜借ヲ許ス 四年六月八日 四十四

(マイクロ) (コマ番号)

- 0764 一 騎兵編制ニ付御厩御次馬ノ内廿匹ヲ兵部省ニ付ス 三年十二月廿六日 四十五
- 0765 一 大坂兵部省内ニ婦人ノ住居スルヲ許ス 三年九月廿五日 四十六
- 0766 一 兵部省邸内ニ婦人ノ居住スルヲ許ス 四年十月廿五日 四十七
- 0767 一 朱引内失火ノ際親兵ノ出張場所ヲ定ム 四年四月廿七日 四十八
- 0768 一 朱引内失火ノ際後著ノ親兵出張振ヲ定ム 四年四月廿七日 四十九
- 0769 一 知事副知事陸軍將通行ノ節番所警衛ノ者諸門同様敬禮セシム 三年五月廿五日 五十
- 0770 一 陸軍局監察ニ邸門取締方ヲ令ス 三年五月廿五日 五十一
- 0771 一 遊軍隊ヲシテ夜分十人宛舊兵部省邸へ詰メシム 三年五月廿五日 五十二
- 0772 一 第二遊軍隊招魂社御用地取締ヲ免シ更ニ兵部省邸内取締方ヲ命ス 三年五月廿五日 五十三
- 0773 一 勅任官以上九門内乘馬免サレ候人々通行ノ節ハ立番ノ者捧筒セシメ陸軍少將通行ノ節ハ甲以上同様心得シム 三年五月廿五日 五十四
- 0774 一 兵部省西通用門雜人通行ノ取扱方ヲ定ム 三年五月廿五日 五十五
- 0775 一 大原郷士ヲシテ兵部副省門番六人宛交代ヲ以テ勤メシム 三年五月廿五日 五十六
- 0776 一 兵部省表門勤番ノ心得方ヲ令ス 四年正月廿九日 五十七
- 0777 一 兵部省門番敬禮式ヲ假定ス 四年正月廿九日 五十八
- 0778 一 各藩醫師召連レ陣營ニ病院ヲ立テ療治セシム 四年正月廿九日 五十九
- 0779 一 横濱病院食料支給方ヲ改ム 四年七月廿五日 六十

(マイクロ
フィルム番号)

- 0780 一西洋醫ヲ聘シ官軍病院ヲ越後高田ニ設
ケ各藩醫士ト合議治療セシム 元年八月廿八日 六一
- 0781 一柏崎へ根病院設置ニ付諸口支病院ヨリ
傷者ヲ新潟中間病院へ送ラシム 元年九月廿五日 六十二
- 0782 一第二聯隊第一第二大隊ヨリ治療所患者
取歸トシテ差出セル嚮導役ヲ止ム 四年四月廿五日 六十三
- 0783 一早稲田假病院建設ニ付御親兵五番大隊
重症ノ者ハ入院療養セシム 四年五月 六十四
- 0784 一藥種其外治療用物品受取方ヲ定ム 四年五月 六十五
- 0785 一芝山内源興院ヲ御親兵七番大隊ノ病院
トナス 四年六月廿五日 六十六
- 0786 一加茂社司ニ命シヨニ管地ノ壯丁ヲ出シ
テ薩摩藩兵ノ使役ニ充テシム 元年五月廿五日 六十七
- 0787 一神衛隊掛ヲ設ケ隊中ノ庶務ヲ管ス 元年三月廿八日 六十八
- 0793 一禁軍更張ニ関シ征討將軍伏見ニ於テ親
兵ヲ諭シ誠忠ヲ盡サシム 元年三月 六十九
- 0794 一櫛羅藩管下ノ僧侶ヲ募リテ隊伍ニ編シ
食肉娶妻其意ニ隨ハシメント請フ之ヲ
聽ス 元年四月廿五日 七十
- 0795 一越後口總督其地草莽ノ兵ニ加ハルヲ禁
ス 元年五月廿五日 七十一
- 0796 一松江藩末家佐渡守主計頭人數本藩へ合
併公務ヲ奉セシム 二年五月廿五日 七十二
- 0797 一舊幕府ヨリ引續兵隊アル府縣ハ兵數并
ニ有司姓名等ヲ調査開申セシム 二年八月廿五日 七十三
- 0798 一大坂兵部省判任以下歸省聞届方
二年九月廿五日 七十四

(マイクロ
フィルム番号)

- 0799 一若松縣戍兵トシテ大村藩兵出張ニ付人
馬遣ヒ方ヲ示ス 二年九月 七十五
- 0802 一兵部省軍監ヲ柏崎水原兩縣ニ遣リ其兵
ヲ管セシム 二年十月 七十六
- 0803 一兵部省柏崎以下三縣戍兵ノ員數ヲ民部
省ニ通報ス 二年十月九日 七十七
- 0804 一十津川卿ニ諭シ士道ヲ守リ朝旨ヲ奉体
セシム 二年十月廿五日 七十八
- 0805 一版籍調書中兵部省入用ノ庶限リ諸藩ニ徵ス
一記録編輯ニ付軍防局以下ノ違書等ヲ諸
藩ニ徵ス 二年十月廿五日 七十九
- 0807 一越中島觀兵ノ際諸兵ニ諭シ兵術ノ講究
ヲ勉メシム 二年九月廿五日 八十一
- 0808 一兵部省管轄兵隊中除隊復籍ノ者ヲ府藩
縣ニ採用スル時ハ全省ニ伺出セシム 二年十月廿五日 八十二
- 0809 一神奈川縣兵隊解散俗務專任等ノ處分ヲ
候ス 二年閏月 八十三
- 0810 一兵部省高知藩ニ諭シテ徵兵大隊長役負
内乳案官ヲ廢セシム肯セス仍ラ應答書
ヲ陸申シテ命ヲ請フ 二年十月 八十四
- 0813 一岡山藩常備兵出張ノ節公廩費ヲ以陸軍
資ヲ補充スルヲ許ス 二年十月廿五日 八十五

太政類典第一編第百十五卷索引

兵制門

雜載

- 0816 稟報 一 鳥取藩各所警衛人数ヲ調査ス 九年五月廿 一
- 0817 稟報 一 宇和島藩各所警衛人数ヲ調査ス 九年五月廿 二
- 0818 達 一 諸藩ニ令シ子年以來諸國警衛持場并出 九年五月廿 三
- 0933 達 一 兵在家ノ兵員ヲ錄上セシム 九年五月廿 四
- 0962 稟候 一 諸藩ニ令シ京畿守衛及出征ノ兵額ヲ錄上セシム 九年五月廿 五
- 0992 稟報 一 鳥取藩在京并出張人数ヲ錄上ス 九年五月廿 六
- 0993 達 一 諸藩ニ令シ京坂駐在及ヒ近畿關門警衛ノ兵員ヲ錄上セシム 九年五月廿 七
- 1012 達 一 諸藩ニ令シ諸道出征ノ兵數ヲ錄上セシ 九年七月廿 八
- 1057 達 一 諸藩ニ申令シ在京兵員ヲ錄上セシム 九年十月廿 九